



久慈年和
(立憲農民クラブ)

国のマイナンバー総点検の 中間報告後の状況は

2業務が点検対象だが 内部点検では誤りなし

問 政府はマイナンバーカードと健康保険証の一体化を進めるため、2024年秋に健康保険証を廃止する方針であるが、いまだに様々なトラブルが発生している。8月末現在のカード取得者数の状況は。

答 交付枚数の累計は昨年度同時期より20,952枚増加し47,734枚、交付枚数率は80.9%です。廃止されたカードを除いた保有枚数は45,116枚で、保有枚数率は県内10市のうち3番目に高い状況です。

問 健康保険証の廃止は、4割超の自治体が延期や撤退を求めており、医療関係者にも困惑が広がっている。8月8日にデジタル庁主催の会議でマイナンバー総点検の中間報告が行われたようだが、その後の状況は。

答 9月6日にデジタル庁から個人データの点検対象となる自治体名とその事務が公表され、本市では生活保護と中国残留邦人等支援給付の2業務が点検対象となりました。今後、デジタル庁から示された総点検実施マニュアルの手順に基づき、対象となった業務について、マイナンバーと氏名、住所、生年月日、性別が正しくひもづけされているかの確認作業をすることとしています。

問 それぞれ何件が点検の対象になっているのか。

答 本市以外の住民基本台帳に記載されている方で、生活保護情報に係る事務6件、中国残留邦人等支援給付支給情報等に係る事務の対象者はありませんでした。いずれも本人確認作業が不十分である事務として点検の対象となっています。

なお、これらの事務は既に内部点検を実施した結果、ひもづけ誤りはありませんでした。



小笠原良子
(日本共産党)

学校給食費を無償化する考えは

現在は考えていないが 国の動向を注視していく

問 学校給食費を無償化する考えは。

答 現在のところ実施は考えておりませんが、国のこども未来戦略方針で検討することとされているため、動向を注視していきます。

問 自分では気づきにくい難聴の早期発見のため、健診に聴力検査を取り入れる考えは。

答 聞こえづらい場合の早期受診の勧奨の普及啓発を継続したいと考えているため、現時点では聴力検査を行うことは考えていません。

問 トワーレの多目的研修室の音響が悪いと言われている。カーテンなどを利用し、対策しているようだが、音響設備はこのままでよいのか。

答 当該施設を担当した設計事務所と協議し、解決策として吸音カーテンを設置し、改善を図りました。現在は、利用申込みの受付時に、音が反響しやすいなどの部屋の特性を説明し、一定の理解を得た上で利用いただいているため、新たな対策は考えていないところです。

問 (仮称)みちのく風力発電事業には、白紙撤回を求める意見書を本市を含む6市町の首長の連名で事業者提出している。(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業にも同様に反対の声を上げる考えはないか。

答 個々の事業について、市民の理解が得られることを最優先とし、個別に判断していきたいと考えています。

問 大中台牧場風力発電事業の進捗状況を市は把握しているのか。

答 事業者から新型コロナウイルス感染症の影響などで、設備整備計画の作成が遅れているとの報告を受けています。